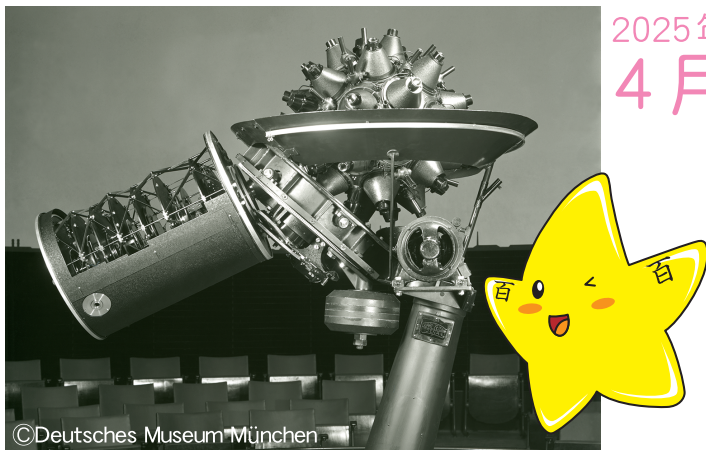


星空 だより

普及版

2025年 4月

がいけつ!
ぎもん・てんもん



1923年に完成した
世界初の
光学式プラネタリウム
“ツァイスI型”
©Deutsches Museum München

今月の放映

今夜の星空+テーマ番組「プラネタリウム100周年！」

今年5月、ついにプラネタリウム100周年がグランドフィナーレを迎えます。えっ何のこと？って？ホラあったでしょ2023年にプラネタリウム生誕100周年って…あれまだ続いているんですよ!?! 100の疑問にお答えします!

土曜11:00 今夜の星空+こども番組「パンドラのはこ」

放映日

● 一般向け ★ こども向け ※開始時刻の10分前から入場できます。

	11:00~	13:30~	15:30~	16:30~
平日(月・水・木)				●
土曜日	★	●	●	
日曜日・祝日・春・夏・冬休み	●	●	●	

※予定変更が生じる場合があります。最新情報はホームページ、X(旧ツイッター)等をご確認ください(右下QRコード)。

※2日(水)~7日(月)は春休み特別放映・全天候プラネタリウム『Mitaka! 宇宙の旅』(11:00~、13:30~、15:30~の3回放映、火・金定休)です。期間中、5日(土)11:00~はこども放映です。

※29日(火・祝)、5月3日(土)~6日(火・振)はゴールデンウィーク特別放映『チャレンジ! 星空クイズ!』です。期間中、5月3日(土)11:00~はこども放映です。

小学4・6年生が理科で習う内容を
中心に、毎月わかりやすく星のお
話をします。楽しく学べて学校の
授業にもとても役に立ちます!

今日は…20日(日)13:30、15:30
「月を探そう!」(小4)
月はどんな形で、いつどこに見える
かな?どのように動くかな?
プラネタリウムで確かめよう!

観覧料

大人(高校生~) 300円 子ども(3歳~中学生) 100円
団体(20名以上) 大人250円、子ども80円 ※久喜総合文化会館メンバーズクラブ/フレンズ会員の方はご本人様のみ無料
障がい者個人および介護者1名 個人の料金の50%割引(要当該手帳提示)

イベントの予定

春休み特別放映 全天候プラネタリウム『Mitaka! 宇宙の旅』

3月27日(木)~4月7日(月) ①11:00~ ②13:30~ ③15:30~

※3月29日(土)、4月5日(土)11:00~はこども放映 ※火・金定休

国立天文台開発のデジタル宇宙ビューアー「Mitaka」を
使用し、地球を飛び出し限りなく広がる宇宙を旅しよう!



ゴールデンウィーク特別放映 『チャレンジ! 星空クイズ!』

4月29日(火・祝)、5月3日(土)~6日(火・振) ※4/30(水)、5/1(木)は16:30~
通常放映、5/2(金)は定休日

①11:00~ ②13:30~ ③15:30~ ※5/3(土)11:00~はこども放映

星を見ながら出題されるクイズにチャレンジ! 解答用紙に答えを書き込もう!
キミは何問できるかな? 参加したお子さんにプレゼントもあるよ!

天体観望会 4月12日(土)18:30~20:00 (19:00まではプラネタリウムでの事前学習)

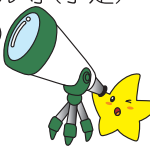
定員...136名(先着順) 観察する星...月、木星、ミザール・アルコル等(予定)

参加費...無料 申込...会館事務室に電話か直接申し込む(受付中)

※中学生以下保護者同伴。

※天候不良の場合プラネタリウム放映のみ実施。

※当日は18:00~18:20にプラネタリウム前集合(受付が出ています)。



5月の放映内容(予定)

今夜の星空+テーマ番組
「プラネタリウムを作った男」

土曜11:00 今夜の星空+
こども番組「パンドラのはこ」

18日(日)13:30、15:30

がいけつ! ぎもん・てんもん
「月の満ち欠け」(小6)

お知らせ

内容変更となる場合があります。最新情報は
ホームページで→→→



アカウントをお持ちの方は『X』
(旧ツイッター)もご覧ください!

X @KUKI_bunka

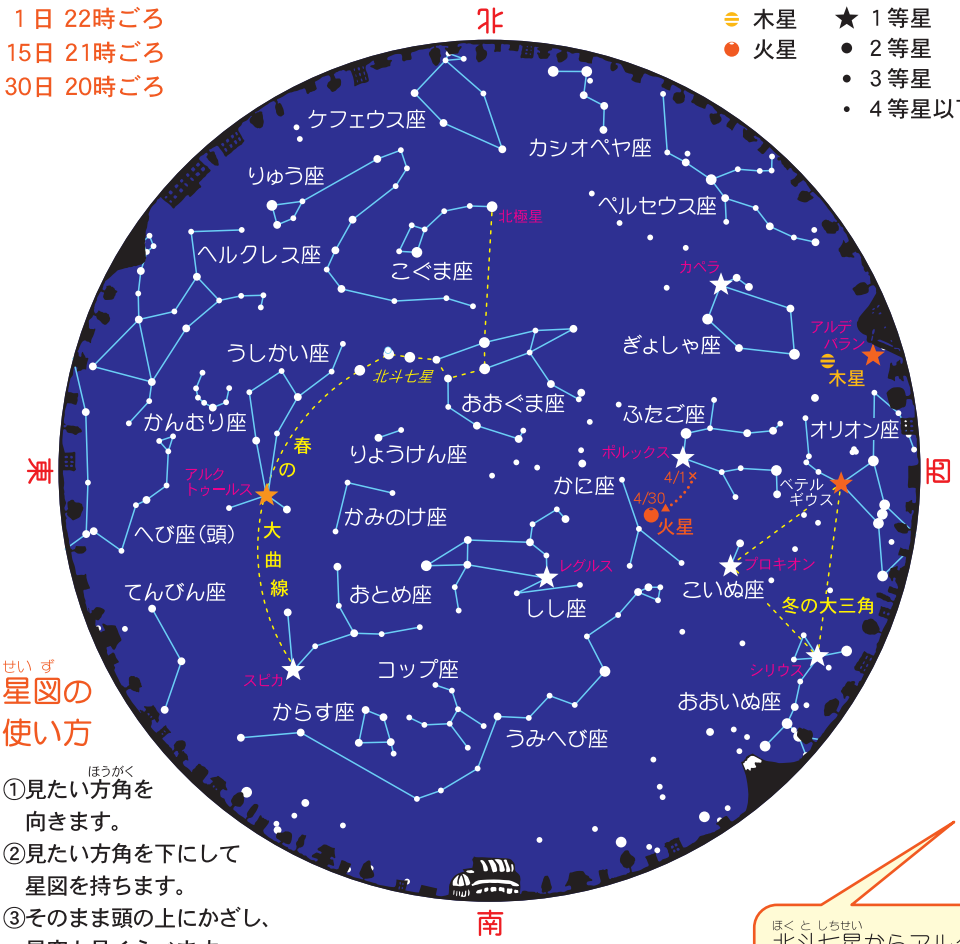


久喜総合文化会館

〒346-0022 埼玉県久喜市下早見 140
TEL: 0480-21-1799 FAX: 0480-23-6488

4月の星空

1日 22時ごろ
15日 21時ごろ
30日 20時ごろ



星図の使い方

- ①見たい方向を向きます。
- ②見たい方向を下にして星図を持ちます。
- ③そのまま頭の上にかざし、星空と見くらべます。

惑星 わくせい
西木星…2等級。夕空で一番星となる。
西火星…1等級。ふたご座からかに座へ順行中。地球から離れ次第に暗くなる。
主な1等星 おもないとうせい

東アルクトゥールス[うしかい座]…オレンジ色。明るく目立つ。
南東スピカ[おとめ座]…やや低め。白い星。
南レグルス[しし座]…見上げる高さ。
南西シリウス[おおいて座]…星座の星の中で最も明るい。かなり低い。
南西プロキオン[こいぬ座]…冬の星だがまだ見られる。
西ベテルギウス[オリオン座]…低空に赤っぽい色に輝く。
西ポルックス[ふたご座]…やや高めにあり、まだしばらく見られる。
北西カペラ[ぎょしゃ座]…明るく目立つ。



北斗七星からアルクトゥールス、スピカを結ぶカーブを春の大曲線と呼ぶよ！

プラネタリウム100周年グランドフィナーレにあたり

1923年10月21日、ドイツ博物館でカールツァイス社制作の近代的な光学式プラネタリウムが関係者向けに試験公開されました。「イエナの驚異」と言われたこの出来事から2023年でちょうど100周年。この2023年から今年まではドイツのみならず、世界各国がプラネタリウム100周年の記念事業を行ってきました。もちろん日本でも様々な催しが行われ、いよいよ今年5月にグランドフィナーレを迎えます。発明から100年を迎えたプラネタリウムは、星を映す光源が電球からLEDに置き換わり、またそもそもの投影方式を高解像度のビデオプロジェクターによる映像に置き換えたり、ドームスクリーンそのものが星を映し出す高解像度のモニターになったりと発展を見せました。ドーム内でもコンサートやイベント、演劇等が行われるなど、内容も実に多様化しつつあるようです。

しかしプラネタリウムの意義はやはり星や宇宙についてわかりやすく説明できることにあり、と筆者は思います。ドイツ博物館創立者のオスカー・フォン・ミラーから天文分野について相談を受けた天文学者マックス・ヴォルフは、進んでゆく天文学に一般の人の理解が追いつかないため、実際には時間がかかりわかりにくい天体の動きを、時間を短縮してわかりやすく学べる装置があると良いと考えたそうです。これは100年以上経った今も変わらぬものと思います。プラネタリウムが100年廃れず続いたのは、星や宇宙について知りたいという人々の気持ちが、いつの時代も変わらずあり続けたからこそではないでしょうか。久喜プラネタリウムの投影機は今年3月で38歳。これからもみなさんの“知りたい”気持ちに寄り添えるようがんばっていきます。

日の出	
4月1日	5:27
15日	5:08
30日	4:50

日の入	
4月1日	18:04
15日	18:15
30日	18:28

こよみ	
4月3日	月と木星が接近 (夕方～宵の西の空)
4日	清明
5日	上弦 月と火星が接近 (夕方天頂～6日未明西の空)
13日	満月
20日	穀雨
21日	下弦
28日	新月
29日	昭和の日